

## 令和6年度 循環型社会を実現する環境教育推進事業 事業実績書

### 【学校名】日南市立東郷中学校

#### 1 活動の概要

本校では、SDGsの視点に基づいて、小中連携して環境に優しい活動を行った。特に中学校では、生徒会を中心に様々な活動を企画・立案して主体的に行うことで環境に対する意識を高めるとともに、今後の生活に活かせる生徒の育成を目指した。

#### 2 SDGs の視点

「1 貧困をなくそう」「6 安全な水とトイレを世界中に」「9 産業と技術革新の基盤をつくろ」「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任 つかう責任」「13 気候変動に具体的な対策を」「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」

事業の実施時期：補助を受けた日から令和7年2月28日

#### 1 学校の概要

校区内は、太平洋が一望できる地区と川沿いに田畠が広がる地区があり豊かな環境に囲まれている。

本校は、平成25年4月に東郷小学校と東郷中学校が合併して小中一貫校として開校した。現在小学生165名、中学生99名、計264名の児童生徒が在籍している。入学式や卒業式運動会等の学校行事は合同で実施し一貫校ならではの教育課程を組んでいる。生徒会活動が活発で、SDGsを関連付けた年間活動計画を作成し実践を行っている。

#### 2 活動のねらい

本校の生徒が生徒会活動や地域との協働を通して、SDGsを意識した環境に優しい活動を主体的に行う。様々な活動や環境改善に学習を行うことで環境に対する意識を高め、今後の生活に活かせる生徒を育成する。また、この活動の取組や成果を校内外に発信して、広めていく。

#### 3 活動内容

##### (1) 風田浜クリーン活動

ウミガメの産卵地である風田浜の清掃ボランティア活動をPTA、地域の方々と共に

行った。木やゴミ、ペットボトルを集め浜をきれいに清掃することができた。



##### (2) 廃油石鹼づくり

廃油石鹼づくりは、給食調理場で使用した廃油を使用した。夏休みに小学5年生から中学3年生のボランティアで活動して、牛乳パックや給食で使ったゼリーのカップで型を作った。



##### (3) 「服のチカラ」プロジェクト

「服のチカラ」プロジェクトは不要になった子供服を回収し、難民の方に届ける活動で、3年前から参加している。学校外でも市内の公共施設や中学校にも協力してもらい1855枚の服を回収した。回収した服



は中学生が朝のボランティアで、小学生が昼休みに色分けを行った。



#### (4) アルミ缶回収

年間を通じて、各家庭にお願いしてアルミ缶とスチール缶の回収を行った。回収した益金は地震災害義援等に募金した。



#### (5) グリーンカーテン

ゴーヤやヘチマを利用したグリーンカーテンを設置して室内の気温を下げることでエアコンの使用量を抑え、節電や二酸化炭素の削減につなげる取組を行った。



#### (6) 腐葉土づくり

11月から校内の落ち葉を集めて、腐葉土づくりに取り組んでいる。つくった腐葉土は、学校で育てている金柑畑の土壌改良に活用する予定である。



#### (7) 環境教育講座

中学1年生が総合的な学習の時間の授業水質調査を行った。実際に近くの川に行き、その場の音や風景、水の匂いを感じ取り、水の透明度調査などを体験した。その後、川に入り水中生物の調査を行った。



### 4 成果と課題

#### (1) 成果について

- ・ 年間計画通り活動ができた。生徒たちは意欲的に取り組み、環境問題について関心を高めることができた。
- ・ 「服のチカラ」では単に服を回収して無駄をなくすだけではなく、難民の方にも役立っていることで世界の貧困についても学ぶことができた。
- ・ 環境教育講座では、普段見慣れた川が水質調査をすることできれいだと分かりこの環境を守り続けていきたいという気持ちが高まった。

#### (2) 課題について

- ・ グリーンカーテンの栽培は順調に行うことができたが、その効果について科学的な数値を出すところまではいかなかつた。
- ・ 今年度の活動を今後生徒主体でどのようにつなげていくか、また、小学校の児童会との連携もどのような形で進めていけばよいかという課題が残った。

学校名：日南市立東郷中学校

住 所：日南市大字東弁分乙22番地

電話番号：0987-23-1481

E-mail：4204ja@miyazaki-c.ed.jp